

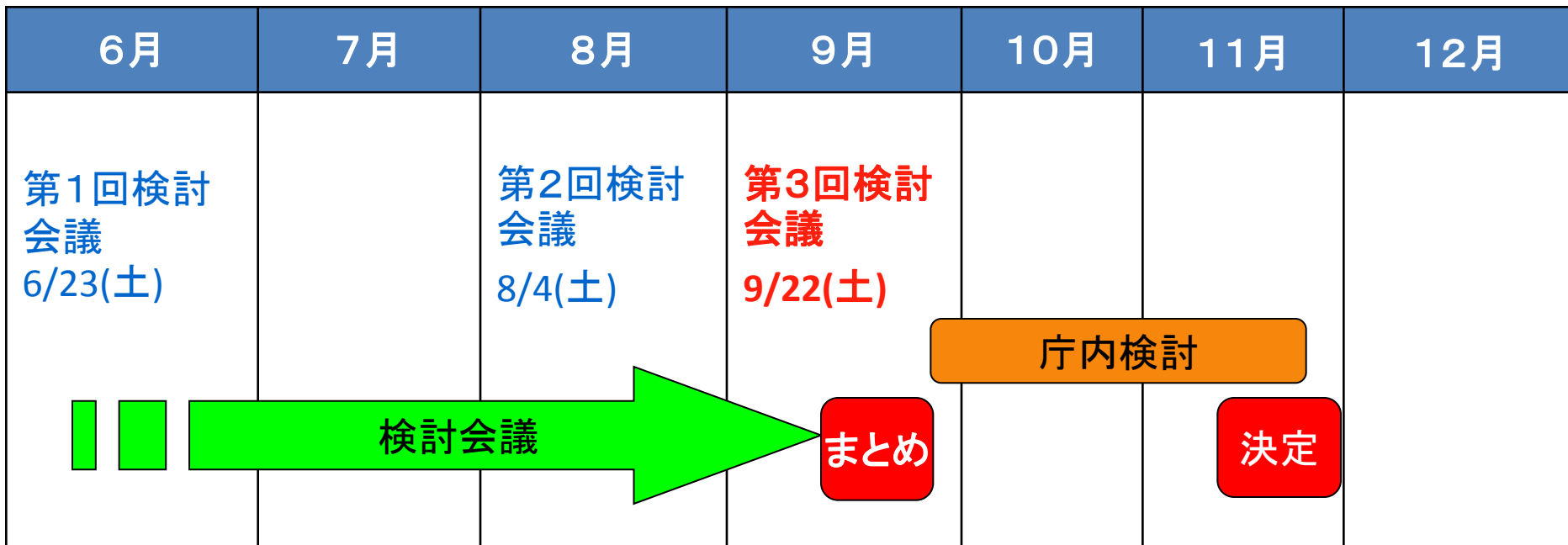
第3回 田中・柏の葉コミュニティエリア 検討会議

平成30年9月22日(土)

地域づくり推進部地域支援課

第2回検討会議のふりかえり

田中・柏の葉コミュニティエリア検討スケジュール



開催年月日 平成30年6月23日(土) 田中近隣センター会議室 午前10時～12時

平成30年8月 4日(土) 東葛テクノプラザ第2研修室 午前10時～12時

平成30年9月22日(土) 東葛テクノプラザ第1研修室 午前10時～12時

会議中の発言

ご意見

柏市ふるさと協議会
連合会

案3になった場合、ふるさと協議会は新たに2つできるということか。

柏の葉一丁目
自治会

随所に地域の実態や地域特性、地域住民の意識という言葉がでてくるが具体的にどういう意味か。

その中身が知りたい。住まいの形態が違うのは当然だが、それによって、どういう意識の違いがあるのか、どういう実態の違いがあるのか、地域特性がどう違うのかというのを具体的にしないとそれを分割の基準であるかのごとく議論しているようだが、とんでもない誤解を招くと懸念している。

委員長

逆に言うと、住民の皆さんの中で前回もそういった話題がでていて、漠然としたかたちでは出てきていたかと思うが、明確に地域特性といった皆さんの中でどういうふうに考えているかというところとどういうふうに分けた方がいいのかということをお話し合っていく場でもある。

柏の葉一丁目
自治会

分割の基準を考えるにあたって、何のためにコミュニティを設置するのかという原点に立ち返って、地域活動を損なわないということがある。時代が変わると、そもそも地域活動とは何かというところに戻らないといけない。2025年問題があり行政の最大の課題は高齢社会になっても安心して住めるまちづくりをどうするかだと思う。地域活動の目的は高齢社会をどう乗り越えていくかというのが争点になるだろう。そのときに年齢とか職業とか、そういうもので地域を分けるのが本当に適切なのかということをお考えいただきたい。

委員長

非常によい論点をだしてもらった。前回の宿題として各町会で意見を聞いていただければということをお願いしたが、いかがか。

柏市若柴町会

2案がいいと思う。町会内で細かい話は出来ていない。いづれ分かれるだろうという話はしている。人口的に考えると案2が理想であると考えている。

会議中の発言

ご意見

新若柴町会

分けるのは素晴らしいことだと思う。町会の子どもは松葉のほうにほぼ通っている。子どものために、いままでの過程の中で作られたものを直していくのは相当の時間が必要ではないかと思う。

東十余二町会

役員間で話をした。全員の意見をまとめることはまとまりがつかない。時期を見ながら、現状では今のままで当分の間は進めたい。ゆくゆくは案2になるのがよい(人口、面積の面を考えても)とは思いますが今は難しい。

柏の葉一丁目
自治会

役員会の意見としては分割は早くしてほしい。現在はコミュニティの規模が大きすぎる。行政として小回りが利くほうがよいだろう。

柏の葉二丁目町会

役員会が行われていないので話せていない。

柏の葉三丁目町会

役員レベルで話をした。案1になっても案2になってもあまり変わらないのかなという意見。自分の町会だけで言うなら案1のほうがより狭い地域になるので活動しやすいのではと思う。案3についてはないかなと思う。検討材料としては有りだと思うが、コストの面を考えても現実的でない。案1か案2がよいと思う。

柏の葉キャンパス
一番街町会

7月に役員が替わった。実際考えると民児協エリアが案2で活動していることも考えると個人的にはコミュニティエリアとのズレが生じると実際に活動していく人たちのことを考えると案2がよいのではと思う。

柏の葉キャンパス
二番街町会

コミュニティエリアを分けることに関して異論はない。役員間では案1と案3が多かった。行政面のコスト、人口面も考えると案3より案1がよいのでは。一丁目～三丁目は西原と活動しているものもあるので、そこは最大限尊重しないとイケない。案2で分けてしまうと、また2年後ぐらいにコミュニティを分けるという話になると思うので現実的でない。そう考えると案1がよいのではないか。

柏の葉キャンパス
ゲートタワー
管理組合

案3は人口が少なすぎて現実的でない。エリアを分けることは賛成。住民としては行政に任せる。人口的に案2だと現実的でなくなってしまう。案1がよいのでは。

会議中の発言

ご意見

田中地域ふるさと協議会

地域の特性について、もともと田中地区は農業地域である。原則的に農家の考え方。皆さんと違うのは土地へのしがらみ強い。先祖から引き継いだ土地を守るという考え方が強い。三世代、四世代と一緒に住むというのが原則としてある。それを代々つないでいくというのが田中地区の考え方。自主防災も自分達で守ろうという気持ち強い。

委員長

前回は話題になったが**歴史的な経緯を踏まえて**ということで非常に重要なことであって、それと先ほど言われたように現実的に抱えている目の前の問題とどうすり合わせていくかというのが一番大きな問題なのだと思う。ほか、いかがだろうか。

柏の葉キャンパス二番街町会

もともと中学校ができたことがエリア検討の契機になったと聞いていたが、コミュニティエリアを分割したとしても学区が変わるわけではない。学区が改善されるわけではないと思うが、そのあたりはどうか。

柏の葉一丁目自治会

案2であれば解消されるのでは。

副委員長

現在、中学校が含まれていないコミュニティエリアはないのか。

柏市ふるさと協議会連合会

分割を前提に、どうしてふるさと協議会を作らなければいけないかということだが、**町会の域を越えてふるさと運動を熟成するという目的でふるさと協議会ができた**。もし仮に柏の葉地域が開発されなければ、この話し合いをする必要はなかった。行政からすると行政の連絡がスムーズになる。いろいろなご意見もあったが案3はふるさと協議会をふたつ作るということで費用対効果、コストの面を考えても疑問がある。**案2は価値観がずれてくるのではないかと思う。案1が活動が進むのではないかと思う。**

委員長

行政の視点からはどうか。

会議中の発言

ご意見

保健福祉部長

コミュニティの適用論点は防災、高齢者支援、子育て関係そういったところなのかなと思っている。どの案を推すかは立場上差し控えさせていただきたい。合理的な地域特性、交通事情であるとか、非常に大きな問題になると思う。地域特性や個別の課題はそれぞれのニーズにあわせて活動している。支えあい活動などは世代を超えた連続性とか面的な広さとしてのつながりも求められる部分がある。例えば活動形態として自助、互助、共助、公助というものがあるが地域特性を踏まえたほうがやりやすいと思うが特性自体は時間とともに変わってくると思う。幅広い年代や層が特性を超えて連携をする仕組みが保健福祉部が所管している事業のなかでは必要となってくる場合が多いし、今の施策のやり方からしても共生社会ということで高齢者だけではなく、いろいろな様々な課題を抱えている人たちが連携をして、それを推進していくというのがトレンドになっているので、そういった方向性が求められていく可能性が強いという認識は持っている。

市民生活部長

以前地域づくりに携わったことがあって旧沼南地域のふるさと協議会を作るときも大変だったという認識でいる。エリアの見直しがテーマになっていると思うが、大前提はふるさと運動を推進することにある。そのためにエリアの設定をするということ、そして活動を推進するために近隣センターを整備するという流れだったと思う。そういったことを考えると今回1本でいくのか、また分割するのか、分割をする場合は新しいところがそういった活動を担う意識があって行なっていくものと思っている。ということから1本にするのか分割するのか、いずれにしても形としてはふるさと運動がより一層力強く推進されるということが大事。もう一点、案2について民児協はすでに活動が進んでいる。分割する際にはそういったことも配慮していただければと思う。

委員長

いくつか論点が見えてきた。ひとつはコミュニティエリアの分割の問題と同時にそれがふるさと協議会、あるいはふるさと運動を推進していくということで運営主体をどうしていくかという問題がある。ここで提案させていただきたいのだが大きく分けて3つのグループに町会が分かれるかと思う。ひとつは若柴町会、新若柴町会、それから東十余二町会、比較的、地のかたが多い。それから柏の葉一丁目から三丁目、これは連絡協議会を持っている。それから、まちづくり協議会というかたちで。全体でもあるが少し分科会的に各グループごとに話をさせていただくというのはどうか。

会議中の発言

ご意見

柏の葉一丁目
自治会

意図がわからない。分けることによって、かえって変な境界線を引くことにならないか。先ほど宮島部長が言ったように世代間を越えて助け合っていく、互助のような体制を作らないと高齢社会を乗り切れない。そのときに地域特性だけ見て分けてしまったら変な議論になる。対立を煽るような誘導ではないか。

委員長

わかった。最終的に私のひとつの意図は案1にしろ案2にしろ、ある程度今のグルーピングのなかで意思決定していただくかたちになっていくかと思っている。今の感じだと積極的に案3を支持されるかたはあまりなかったので、案1か案2かを詰めていく時期になってきているかと思う。このまま案1か案2かで進めていきたいと思う。

新若柴町会

前回教育委員会の意見を聞きますという話があったが、教育委員会の実際の意見はどうだったのか。時代とともに変わるからということなのか。
コミュニティエリアを決めていくなかで、教育委員会は時代とともにかわるのだからという話なのか、何かご意見はなかったのか。

市民生活部長

前所属が教育委員会で生涯学習部だったので直接担当していたわけではないが、教育委員会の考え方としてはコミュニティエリアを中学校区で、という考え方はあるが従前どおりの中学校区に縛られるわけではないと推測している。逆に全体感からすると地域で子どもを見守り、育てる、という考え方が国のほうからもあって、地域と児童との関係がよくなることを望んでいる、という流れがある。

市民生活部長

地域で子どもを守っていくという考え方は間違いなくある。多世代交流で上手くいく関係を築きたい、日常生活のなかでボランティア活動を一緒にやっていきたい、ぜひお願いしますという考え方。学区というのは大事だという考え方もある。

会議中の発言

ご意見

新若柴町会

コミュニティエリアと学区との違いについてはどういうふうにと考えたらよいのか。

市民生活部長

本当なら一体的なほうがよりよいと思う。

地域支援課長

前回の会議から今日までの間で教育委員会と話していない。ただ学区とコミュニティエリアのずれについては勿論、教育委員会もよくわかっている。地域活動を展開するうえで学校を中心と考えるとなかなかやりにくいということは教育委員会も我々も認識している。ただ、これをどう解決するか、ガラッと学区を変える、ガラッとコミュニティエリアを変えることもできないという現状のなかでは長期的に課題として取り組んでいこうという認識は持っている。

柏市ふるさと協議会
連合会

地域の分割と教育は別で考えていくべきだろう。社会教育法もかわった。今後教育はコミュニティ教育に移るはず。地域が先か教育かといえば地域が先。教育はそれに追従していろいろ考えていくというステップのほうがよいだろう。地域の分割ありきで話を進めていただきたいと思う。もちろん教育は追従する問題で非常に大切だと思うが、**まずは地域の分割、地域のあり方を考えていくのがプロセスとしてよいだろう。**

委員長

学区の話も含めてこれは長期的にみていかなければいけないということで、今回についてはまず地域の分割ということ、コミュニティエリアをどうするかということを前提でその上で子どもたちの問題を考えていくというかたちでいかがだろうか。

柏の葉一丁目
自治会

話をまとめると案1か案2だろう。考えるポイントは10年後をどう描くかが必要だろう。基本的には性別的にも年齢的にも多様な人が住む地域が望ましいと思っている。年齢とかそういったことで分割するのは大反対。むしろ行政として多様な人が住んでる中でバランスをとれたら人口構成に着眼すればよいと思う。**10年後を予想すると案2がよいのではないかと思う。**10年後の姿を描いてみる必要があると思うので**10年後の人口構成がどうなるかという数字があれば参考にすべき。**

会議中の発言

ご意見

東十余二町会

案1がよい。10年後、将来的に案2のような形に移行できることが可能であれば今は案1でいきたい。それが無理だという話であれば考え直さなければいけない。

柏市若柴町会

案2がよい。柏の葉小が平成24年に開校し若柴町会からはほとんど田中小、田中中に通っていたが開校と同時にほとんどのかたが柏の葉に移った。最近新しい住民も増えて、病院跡地にマンションができたりにしている。我々が移動しなければいけないのではないかと、行政からの指導ということがあれば仕方ないのではないかと。

地域支援課長

先ほど東十余二町会から将来的な見直しの含みはあるかというご質問を頂戴した。実は今回話を伺っていてキーワードをふたついただいたかと思っている。ひとつは地域特性は何かというご質問に対して、岡田副会長から土地への愛着ということがひとついえるのではないかと、というお話を頂戴した。代々その土地に住んでいるかたなのか、新しく柏にここ何十年間のなかで移り住んでいるかたなのかというところの差がもし地域活動をするうえでの差が大きいとすれば、今どちらにつくかということで非常に会長さんがご発言しにくい若柴町会さんとか東十余二町会さんというのは、元々は土地付きの方々でいらした土地に新しいかたがどんどん入ってきていて地域特性が町会のなかでも気持ちが変わってきている地域だと思っている。もうひとつのキーワードを頂戴したのが柏の葉一丁目の会長のほうから地域特性は変わっていくものではないかという話があって、まさにそのふたつの町会の地域特性がおそらく劇的に、これまでの10年間、これからの10年間で変わるのだろうと思う。あとは今後10年後にその地区がどうなっているかということ踏まえて人口もそうだが10年後を先取りして今分けておくのか、今は今でわけて10年後ないしは5年先ぐらいに再度検討するのか、というところの違いなのかなと感じている。現状で分けると案1になって、10年後を考えると案2になるのかと思う。行政として結論を出すわけではないが論点的にはそういう整理になっていると感じた。あと人口が今後10年区画整理で増えるのはおそらく若柴町会だと思う。そうすると案1だとそんなに人口は増えないかもしれない。

会議中の発言

ご意見

委員長

確認だがまだ区画整理は5年くらい進んでいくという前提でよいのか。

都市部長

区画整理だが、平成34年で推計で1万900人、平成44年で1万4,400人というかたちで推定している。

副委員長

まちづくり協議会の範囲について、明確に定めているわけではなくて例えば三井不動産の開発しているマンションの外側に今どんどん出来てきている中で管理組合や町会とどこまでまちづくり協議会と一緒にやっていくのかというあたりも議論している。なので案1になった場合も5年固定といったわけにはならなくてもっと流動的に動く可能性があるのでは。

柏の葉キャンパス
二番街町会

一旦は案2に分けておいて見直しをかけて柔軟に考えていくというやり方もあるのでは。

委員長

一番悩ましいのは東十余二町会ではないかと思うが。

東十余二町会

ここで結論を出してくれといわれると難しい。町会全員の意見を聞くのは無理。この会で決まったものを理解してもらえない。希望は案1、将来的には案2というのが希望。

柏の葉キャンパス
二番街町会

個人的には案1がやりやすいと思う。ふるさと協議会を立ち上げるとなったときに柏の葉一丁目～三丁目はすでに連絡会があり意見集約がしやすいというところと、一番街～ゲートタワーに関してはまちづくり協議会があるので立ち上げて意見を集約して活動していくという観点からすると案1がいいのかなという感じがする。ただそのときの人口状況を見て見直していくというのはあると思う。

会議中の発言

ご意見

柏の葉三丁目町会

柏市は元々案2だと考えていたのではと思う。ただ話を聞いていく中で案1もあるのではということ
で議論をしたのだろう。意見集約は難しいと思うが、実際、近隣センターを建てるとなると、わざわざ遠くに行くというよりは近くのほうがいいよね、という話になると思うので段々案2に近づいていく
というふうになっていくのかなと思っている。あとはどれくらいのスパンで見直しをかけるかという
ことが明確になっていないと意見が出しづらいのではないかなと思う。

委員長

当面は案1で出来るだけ早いうちに見直しを考えていくということになるだろうか。そういう意味で
いうと案1について他の町会がどういうふうに判断されるかという問題に段々なってきたのかな
かなと考える。大勢でいくと比較的案1のほうがまとまりやすいのではないかなというかたちで、しかし、
その他の4町会については、これからどうしていくかということ、新しいコミュニティエリアにどうい
かたちで移行していくかということを考えていく。もしかしたら最初の立ち上げの段階から入られる
というのもひとつ、可能性としてはありうるのかなと考えている。次回への宿題として、町会の中で
議論を出していただくというかたちで次回への持ち越しということではいかがだろうか。

東十余二町会

次回までに案1か案2か、はっきりした返事を持ってきてくれということではよろしいか。

委員長

場合によっては、案1にプラス何らかの形ということもありえる。

地域づくり推進部長

市としては柔軟性を持って考えたい。案1をベースとして、町会として、どちらに入るかご判断いた
だければいいのでは。

地域支援課長

次回までの事務局側の宿題として、もし案1からスタートした場合にどんなふうな見直しのターム
であるとか、今回の結論は、おそらく案2が望ましいであろう、とただそれを今、分けるかどうかと
いうところの議論かなと思っている。なので、もし案1からスタートした場合にどういう流れで案2に
移行していくのか、という時間的なものですか、おそらく、もし近隣センターを作るとしても、その
近隣センターが抱える人口規模がどうなるかというのを見ないといけないので、その辺の行政の
計画の推考する期間があるので、案1からスタートするのであればどんなふうに移行する
のか計画を作りたいと思っている。もしくは案2でスタートした場合に既存のふるさと協議会との活
動のすり合わせですか、おそらく、もしくはふる協を立ち上げるときの課題ですか、というところ
もあるかなと思うので、そのあたり事務局で整理してご提示できればと思う。

会議中の発言

ご意見

委員長

先ほどから出ておりますけれども、コミュニティエリアの問題と同時にそれをこれからふるさと協議会の中でどういう運営していくか、三町会の連絡会プラスまちづくり協議会のほうで、ということで、それから**四町会のほうがどう絡んでくるかという運営の話**もしていかないといけない。次回はそのあたりも含めて、というかたちになるかと思う。まとめると、**とりあえずは案1をベースとして考えていくけれども、しかし案2の方向も将来的には見据えていく**、先ほどのタイムスケジュールで進めていくかということも含めて、逆にいうと今の四町会については各町会ごとでの意志を確認していただくというのを次回までにお願ひできればと思う。

柏の葉一丁目
自治会

市にお願ひしたいのだが、案1と案2に分けて、10年後、**2040年くらいまでの人口のピラミッド構成を知りたい**。もうひとつは、ある程度の世帯を有する**コミュニティで高齢者対策がうまくいっているところがある。そのサンプルがあれば教えていただきたい**。確か8千世帯くらいで千葉でうまく活動しているコミュニティがあったはず。高齢者のコミュニティを支えていくにはある程度の人口がないと支えられない。財政的な意味も含めて、マンパワーも。

企画部長

推計人口については、より地域が細かくなればなるほど難しくなってくるという現状がある。どこまでできるかについては、今日の資料でお示ししているように田中地域の2025年までのこんな推移しますよというのをお示しできる。これはその先も実はできている。こういう統計というのは先にいけばいくほど数字が怪しくなることがあって、なおかつ地区を区切れれば区切るほど余計怪しくなるというところがある。担当に持ち帰って話をするが、出来る範囲で皆様のご議論の参考になるような数値はお出しできるように努力させていただきたいと思う。

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | |
|---|-----|-----|---------|----------|
| 案3になった場合、ふるさと協議会は新たに2つできるということか。 | その他 | その他 | エリアの分け方 | ふる協 |
| 随所に <u>地域の実態や地域特性、地域住民の意識という言葉がでてくるが具体的にどういう意味か</u> 。その中身が知りたい。住まいの形態が違うのは当然だが、それによって、どう意識の違いがあるのか、どういう実態の違いがあるのか、地域特性がどう違うのかというのを具体的にしないとそれを分割の基準であるかのごとく議論しているようだが、とんでもない誤解を招くと懸念している。 | その他 | その他 | 地域特性 | 新旧住民の意識差 |
| 逆に言うと、住民の皆さんの中で前回もそういった話題がでていて、漠然としたかたちでは出てきていたかとは思いますが、明確に地域特性といった皆さんの中でどういうふうを考えているかというところとどういうふうに分けた方がいいのかということをお話し合っていく場でもある。 | その他 | その他 | 地域特性 | |
| 分割の基準を考えるにあたって、 <u>何のためにコミュニティを設置するのか</u> という原点に立ち返って、地域活動を損なわないということがある。時代が変わると、そもそも地域活動とは何かということに戻らないといけない。2025年問題があり行政の最大の課題は高齢社会になっても安心して住めるまちづくりをどうするかだと思ふ。 <u>地域活動の目的は高齢社会をどう乗り越えていくかというのが争点になる</u> だろう。そのときに年齢とか職業とか、そういうもので地域を分けるのが本当に適切なのかということを考えていただきたい。 | その他 | その他 | エリアの分け方 | 高齢社会 |
| 非常によい論点をだしてもらった。前回の宿題として各町会で意見を聞いていただければということをお願いしたが、いかがか。 | その他 | その他 | その他 | |
| 2案がいいと思う。町会内で細かい話は出来ていない。いづれ分かれるだろうという話はある。 <u>人口的に考えると案2が理想である</u> と考えている。 | 分割 | 2案 | エリアの分け方 | |
| 分けるのは素晴らしいことだと思う。町会の子どもは松葉のほうにほぼ通っている。子どものために、 <u>いままでの過程の中で作られたものを直していくのは相当の時間が必要</u> ではないかと思う。 | 分割 | その他 | エリアの分け方 | 学区 |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 |
|--|------|-------|--------------------|
| 役員間で話をした。 <u>全員の意見をまとめることはまとまりがつかない</u> 。時期を見ながら、 <u>現状では今のままで当分の間は進めたい</u> 。ゆくゆくは案1になるのがよい(人口、面積の面を考えても)とは思いますが今は難しい。 | 現状維持 | 1案 | 意見集約 数年後のエリア見直し |
| 役員会の意見としては分割は早くしてほしい。 <u>現在はコミュニティの規模が大きすぎる</u> 。行政として小回りが利くほうがよいだろう。 | 分割 | その他 | エリアの分け方 |
| 役員会が行われていないので話せていない。 | その他 | その他 | その他 |
| 役員レベルで話をした。案1になっても案2なってもあまり変わらないのかなという意見。自分の町会だけで言うなら案1のほうがより狭い地域になるので活動しやすいのではと思う。 <u>案3についてはないかなと思う。検討材料としては有りだと思う</u> が、コストの面を考えても現実的でない。 <u>案1か案2がよいと思う</u> 。 | 分割 | 1案か2案 | |
| 7月に役員が替わった。実際考えると <u>民児協エリアが案2で活動している</u> ことも考えると個人的にはコミュニティエリアとのズレが生じると <u>実際に活動していく人たちのことを考えると案2がよい</u> のではと思う。 | 分割 | 2案 | 民生委員 児童委員 |
| <u>コミュニティエリアを分けることに関して異論はない</u> 。役員間では案1と案3が多かった。行政面のコスト、人口面も考えると案3より案1がよいのでは。一丁目～三丁目は西原と活動しているものもあるので、そこは最大限尊重しないとイケない。 <u>案2で分けてしまうと、また2年後ぐらいにコミュニティを分けるという話になると思うので現実的でない</u> 。そう考えると <u>案1がよい</u> のではないかな。 | 分割 | 1案 | エリアの分け方 |
| <u>案3は人口が少なすぎ</u> て現実的でない。 <u>エリアを分けることは賛成</u> 。住民としては行政に任せる。 <u>人口的に案2だと現実的でなくなってしまう</u> 。案1がよいのでは。 | 分割 | 1案 | 市の方針 |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | |
|---|-----|-----|---------|-----|
| 地域の特性について、 もともと田中地区は農業地域 である。原則的に農家の考え方。皆さんと違うのは 土地へのしがらみが強い 。先祖から引き継いだ土地を守るという考え方が強い。三世代、四世代と一緒に住むというのが原則としてある。それを代々つないでいくというのが田中地区の考え方。自主防災も自分達で守ろうという気持ち強い。 | その他 | その他 | 地域特性 | |
| 前回は話題になったが 歴史的な経緯 を踏まえてということで非常に重要なことであって、それと先ほど言われたように 現実的に抱えている目の前の問題 とどうすり合わせていくかというのが一番大きな問題なのだと思う。ほか、いかがだろうか。 | その他 | その他 | 地域特性 | |
| もともと 中学校ができたことがエリア検討の契機になったと聞いていた が、コミュニティエリアを分割したとしても学区が変わるわけではない。学区が改善されるわけではないと思うが、そのあたりはどうか。 | その他 | その他 | エリアの分け方 | 学区 |
| 案2であれば解消されるのでは。 | 分割 | 2案 | | |
| 現在、中学校が含まれていないコミュニティエリアはないのか。 | その他 | その他 | 学区 | |
| 分割を前提に、どうしてふるさと協議会を作らなければいけないかということだが、 町会の域を越えてふるさと運動を熟成するという目的でふるさと協議会ができた 。もし仮に柏の葉地域が開発されなければ、この話しあいをする必要はなかった。行政からすると行政の連絡がスムーズになる。いろいろなご意見もあったが案3はふるさと協議会をふたつ作るということで費用対効果、コストの面を考えても疑問がある。案2は価値観がずれてくるのではないかと思う。 案1が活動が進むのではないか と思う。 | 分割 | 1案 | エリアの分け方 | ふる協 |
| 行政の視点からはどうか。 | その他 | その他 | 市の方針 | |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | | | |
|--|-----|-----|---------|------|--------|----------|
| <p>コミュニティの適用論点は防災, 高齢者支援, 子育て関係 そういったところなのかなと思っている。どの案を推すかは立場上差し控えさせていただきたい。合理的な地域特性、交通事情であるとか、非常に大きな問題になると思う。地域特性や個別の課題はそれぞれのニーズにあわせて活動している。支えあい活動などは世代を超えた連続性とか面的な広さとしてのつながりも求められる部分がある。例えば活動形態として自助、互助、共助、公助というものがあるが地域特性を踏まえたほうがやりやすいとは思いますが特性自体は時間とともに変わってくると思う。幅広い年代や層が特性を超えて連携をする仕組みが保健福祉部が所管している事業のなかでは必要となってくる場合が多いし、今の施策のやり方からしても共生社会ということで高齢者だけではなく、いろいろな様々な課題を抱えている人たちが連携をして、それを推進していくというのがトレンドになっているので、そういった方向性が求められていく可能性が強いという認識は持っている。</p> | 中立 | その他 | 多世代連携 | 地域特性 | | |
| <p>以前地域づくりに携わったことがあって旧沼南地域のふるさと協議会を作るときも大変だったという認識でいる。エリアの見直しがテーマになっていると思うが、大前提はふるさと運動を推進するというにある。そのためにエリアの設定をするということ、そして活動を推進するために近隣センターを整備するという流れだったと思う。そういったことを考えると今回1本でいくのか、また分割するのか、分割をする場合は新しいところがそういった活動を担う意識があって行なっていくものと思っている。ということから1本にするのか分割するのか、いずれにしても形としてはふるさと運動がより一層力強く推進されるということが大事。もう一点、案2について民児協はすでに活動が進んでいる。分割する際にはそういったことも配慮していただければと思う。</p> | その他 | 2案 | エリアの分け方 | ふる協 | 近隣センター | 民生委員児童委員 |
| <p>いくつか論点が見えてきた。ひとつはコミュニティエリアの分割の問題と同時にそれがふるさと協議会、あるいはふるさと運動を推進していくということで運営主体をどうしていくかという問題がある。ここで提案させていただきたいのだが大きく分けて3つのグループに町会が分かれるかと思う。ひとつは若柴町会、新若柴町会、それから東十余二町会、比較的、地のかたが多い。それから柏の葉一丁目から三丁目、これは連絡協議会を持っている。それから、まちづくり協議会というかたちで。全体でもあるが少し分科会的に各グループごとに話をさせていただくというのはどうか。</p> | その他 | その他 | エリアの分け方 | まち協 | ふる協 | |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 |
|--|-----|-------|---------------|
| 意図がわからない。分けることによって、かえって変な境界線を引くことにならないか。先ほど宮島部長が言ったように <u>世代間を越えて助けに行く、互助のような体制を作らないと高齢社会を乗り切れない</u> 。そのときに地域特性だけ見て分けてしまったら変な議論になる。対立を煽るような誘導ではないか。 | その他 | その他 | 多世代連携 |
| わかった。最終的に私のひとつの意図は案1にしろ案2にしろ、ある程度今のグルーピングのなかで意思決定していただくかたちになっていくかと思っている。今の感じだと積極的に案3を支持されるかたはあまりなかったの、 <u>案1か案2かを詰めていく</u> 時期になってきているかと思う。このまま案1か案2かで進めていきたいと思う。 | 分割 | 1案か2案 | エリアの分け方 |
| 前回教育委員会の意見を聞きますという話があったが、教育委員会の実際の意見はどうだったのか。時代とともに変わるからということなのか。コミュニティエリアを決めていくなかで、教育委員会は時代とともにかわるのだからという話なのか、何かご意見はなかったのか。 | その他 | その他 | エリアの分け方 学区 |
| 前所属が教育委員会で生涯学習部だったので直接担当していたわけではないが、教育委員会の考え方としてはコミュニティエリアを中学校区で、という考えはあるが従前どおりの中学校区に縛られるわけではないと推測している。逆に全体感からすると地域で子どもを見守り、育てる、という考え方が国のほうからもあって、地域と児童との関係がよくなることを望んでいる、という流れがある。 | その他 | その他 | エリアの分け方 学区 |
| 地域で子どもを守っていくという考え方は間違いなくある。多世代交流で上手くいく関係を築きたい、日常生活のなかでボランティア活動を一緒にやっていきたい、ぜひお願いしますという考え方。学区というのは大事だという考え方はある。 | その他 | その他 | 多世代連携 学区 |
| コミュニティエリアと学区との違いについてはどういうふうにかえたらよいのか。 | その他 | その他 | エリアの分け方 学区 |
| 本当なら一体的なほうがよりよいと思う。 | その他 | その他 | エリアの分け方 学区 |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | |
|--|-----|-------------|---------|-----------------------|
| <p>前回の会議から今日までの間で教育委員会と話していない。ただ学区とコミュニティエリアのずれについては勿論、教育委員会もよくわかっている。地域活動を展開するうえで学校を中心と考えるとなかなかやりにくいということは教育委員会も我々も認識している。ただ、これをどう解決するか、ガラッと学区を変える、ガラッとコミュニティエリアを変えることもできないという現状のなかでは長期的に課題として取り組んでいこうという認識は持っている。</p> | その他 | その他 | エリアの分け方 | 学区 |
| <p>地域の分割と教育は別で考えていくべきだろう。社会教育法もかわった。今後教育はコミュニティ教育に移るはず。地域が先か教育かといえば地域が先。教育はそれに追従していろいろ考えていくというステップのほうがよいだろう。地域の分割ありきで話を進めたいと思う。もちろん教育は追従する問題で非常に大切だと思うが、まずは地域の分割、地域のあり方を考えていくのがプロセスとしてよいだろう。</p> | その他 | その他 | エリアの分け方 | 学区 |
| <p>学区の話も含めてこれは長期的にみていかなければいけないということで、今回についてはまずは地域の分割ということ、コミュニティエリアをどうするかということを前提でその上で子どもたちの問題を考えていくということかたちでいかがだろうか。</p> | その他 | その他 | エリアの分け方 | 学区 |
| <p>話をまとめると案1か案2だろう。考えるポイントは10年後をどう描くかが必要だろう。基本的には性別的にも年齢的にも多様な人が住む地域が望ましいと思っている。年齢とかそういったことで分割するのは大反対。むしろ行政として多様な人が住んでる中でバランスをとれたら人口構成に着眼すればよいと思う。10年後を予想すると案2がよいのではないかと思う。10年後の姿を描いてみる必要があると思うので10年後の人口構成がどうなるかという数字があれば参考にすべき。</p> | 分割 | 1案か2案 | 多世代連携 | エリアの分け方 数年後のエリア見直し |
| <p>案1がよい。10年後、将来的に案2のような形に移行できることが可能であれば今は案1でいきたい。それが無理だという話であれば考え直さなければいけない。</p> | 分割 | まずは1案、後に2案へ | エリアの分け方 | 数年後のエリア見直し |
| <p>案2がよい。柏の葉小が平成24年に開校し若柴町会からはほとんど田中小、田中中に通っていたが開校と同時にほとんどのかたが柏の葉に移った。最近新しい住民も増えて、病院跡地にマンションができたりしている。我々が移動しなければいけないのはいいか、行政からの指導ということがあれば仕方ないのではないか。</p> | 分割 | 2案 | エリアの分け方 | 学区 市の方針 |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | | |
|---|-----|-------|---------|------------|------------|
| <p>先ほど東十余二町会から将来的な見直しの含みはあるかというご質問を頂戴した。実は今回話を伺っていてキーワードをふたついただいたかと思っている。ひとつは地域特性は何かというご質問に対して、岡田副会長から土地への愛着ということがひとついえるのではないかと、というお話を頂戴した。代々その土地に住んでいるかたなのか、新しく柏にここ何十年間のなかで移り住んでいるかたなのかというところの差がもし地域活動をするうえで差が大きいとすれば、今どちらにつくかということで非常に会長さんがご発言しにくい若柴町会さんとか東十余二町会さんというのは、元々は土地付きの方々でいらした土地に新しいかたがどんどん入ってきていて地域特性が町会のなかでも気持ちがどんどん変わってきている地域だと思っている。もうひとつのキーワードを頂戴したのが柏の葉一丁目の会長のほうから地域特性は変わっていくものではないかという話があって、まさにそのふたつの町会の地域特性がおそらく劇的に、これまでの10年間、これからの10年間で変わるのだろうと思う。あとは今後10年後にその地区がどうなっているかということ踏まえて人口もそうだが10年後を先取りして今分けておくのか、今は今でわけて10年後ないしは5年先ぐらいに再度検討するのか、というところの違いなのかなと感じている。現状で分けると案1になって、10年後を考えると案2になるのかと思う。行政として結論を出すわけではないが論点的にはそういう整理になっていると感じた。あと人口が今後10年区画整理で増えるのはおそらく若柴町会だと思う。そうすると案1だとそんなに人口は増えないかもしれない。</p> | 中立 | 1案か2案 | 地域特性 | 新旧住民の意識差 | 数年後のエリア見直し |
| 確認だがまだ区画整理は5年くらい進んでいくという前提でよいのか。 | その他 | その他 | 市の方針 | | |
| 区画整理だが、平成34年で推計で1万900人、平成44年で1万4,400人というかたちで推定している。 | その他 | その他 | 市の方針 | | |
| <p>まちづくり協議会の範囲について、明確に定めているわけではなくて例えば三井不動産の開発しているマンションの外側に今どんどん出来てきている中で管理組合や町会とどこまでまちづくり協議会と一緒にやっていくのかというあたりも議論している。なので案1になった場合も5年固定といったわけにはならなくてもっと流動的に動く可能性があるのでは。</p> | 分割 | その他 | エリアの分け方 | 数年後のエリア見直し | まち協 |

発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | | | |
|---|-----|--------------|---------|------------|-----|------|
| 一旦は案2に分けておいて見直しをかけて柔軟に考えていくというやり方もあるのでは。 | 分割 | 2案 | エリアの分け方 | 数年後のエリア見直し | | |
| 一番悩ましいのは東十余二町会ではないかと思うが。 | その他 | その他 | エリアの分け方 | | | |
| ここで結論を出してくれといわれると難しい。町会全員の意見を聞くのは無理。この会で決まったものを理解してもらえない。 <u>希望は案1, 将来的には案2</u> というのが希望。 | 分割 | まずは1案, 後に2案へ | 意見集約 | 数年後のエリア見直し | | |
| 個人的には <u>案1がやりやすい</u> と思う。 <u>ふるさと協議会を立ち上げるとなったときに柏の葉一丁目～三丁目はすでに連絡会があり意見集約がしやすい</u> というところと、 <u>一番街～ゲートタワーに関してはまちづくり協議会があるので立ち上げて意見を集約して活動していくという観点</u> からすると案1がいいのかなという感じがする。ただそのときの <u>人口状況を見て見直していく</u> というのはあると思う。 | 分割 | 1案 | 意見集約 | 数年後のエリア見直し | ふる協 | |
| 柏市は元々案2だと考えていたのではと思う。ただ話を聞いていく中で案1もあるのではということで議論をしたのだろう。 <u>意見集約は難しい</u> と思うが、実際、 <u>近隣センターを建てるとなると、わざわざ遠くに行くというよりは近くのほうがいい</u> よね、という話になると思うので <u>段々案2に近づいていく</u> というふうになっていくのかなと思っている。あとはどれくらいのスパンで見直しをかけるかということが明確になっていないと意見が出しづらいのではないかと思う。 | 分割 | まずは1案, 後に2案へ | 意見集約 | 数年後のエリア見直し | ふる協 | 市の方針 |

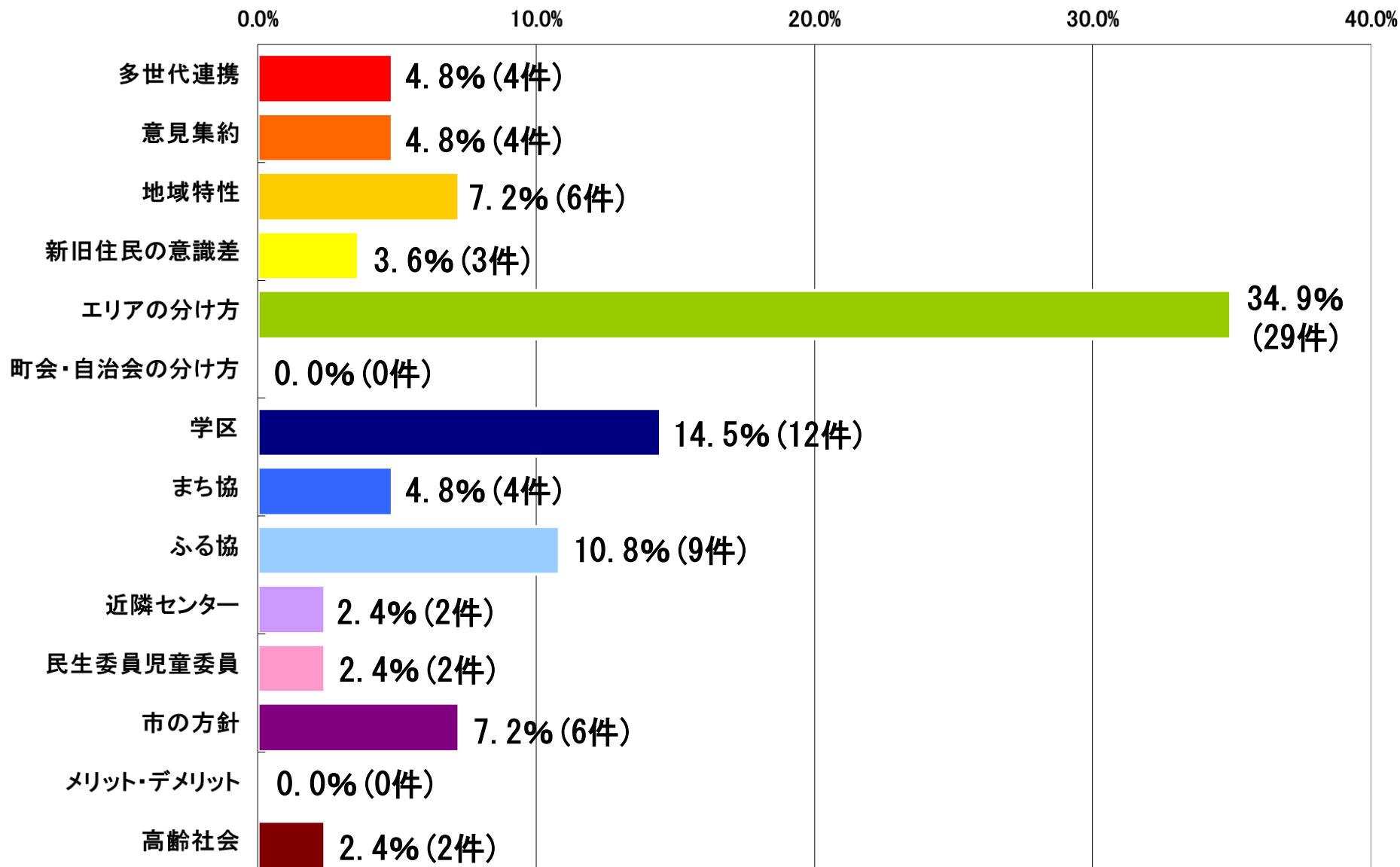
発言の分類わけ

| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | | | |
|--|-----|-------------|----------|------------|-----|--------|
| <p>当面は案1で出来るだけ早いうちに見直しを考えていくということになるだろうか。そういう意味でいうと案1について他の町会がどういうふう判断されるかという問題に段々なってきたのかなと考える。大勢でいくと比較的案1のほうがまとまりやすいのではないかというかたちで、しかし、その他の4町会については、これからどうしていくかということ、新しいコミュニティエリアにどういふかたちで移行していくかということを考えていく。もしかしたら最初の立ち上げの段階から入られるというのもひとつ、可能性としてはありうるのかなと考えている。次回への宿題として、町会の中で議論を出していただくというかたちで次回への持ち越しということではいかがだろうか。</p> | 分割 | 1案 | 新旧住民の意識差 | 数年後のエリア見直し | まち協 | ふる協 |
| <p>次回までに案1か案2か、はっきりした返事を持ってきてくれということではよろしいか。</p> | 分割 | 1案か2案 | エリアの分け方 | | | |
| <p>場合によっては、案1にプラス何らかの形ということもありえる。</p> | 分割 | 1案 | エリアの分け方 | | | |
| <p>市としては柔軟性を持って考えたい。案1をベースとして、町会として、どちらに入るかご判断いただければいいのでは。</p> | 分割 | 1案 | エリアの分け方 | | | |
| <p>次回までの事務局側の宿題として、もし案1からスタートした場合にどんなふうな見直しのタームであるとか、今回の結論は、おそらく案2が望ましいであろう、ただそれを今、分けるかどうかというところの議論かなと思っている。なので、もし案1からスタートした場合にどういふ流れで案2に移行していくのか、という時間的なものですか、おそらく、もし近隣センターを作るとしても、その近隣センターが抱える人口規模がどうなるかというのを見ないといけないので、その辺の行政の計画の推考する期間があるので、案1からスタートするのであればどんなふうに移行するのか計画を作りたいと思っている。もしくは案2でスタートした場合に既存のふるさと協議会との活動のすり合わせですか、おそらく、もしくはふる協を立ち上げる際の課題ですか、ということもあるかと思うので、そのあたり事務局で整理してご提示できればと思う。</p> | 中立 | まずは1案、後に2案へ | エリアの分け方 | 数年後のエリア見直し | ふる協 | 近隣センター |

発言の分類わけ

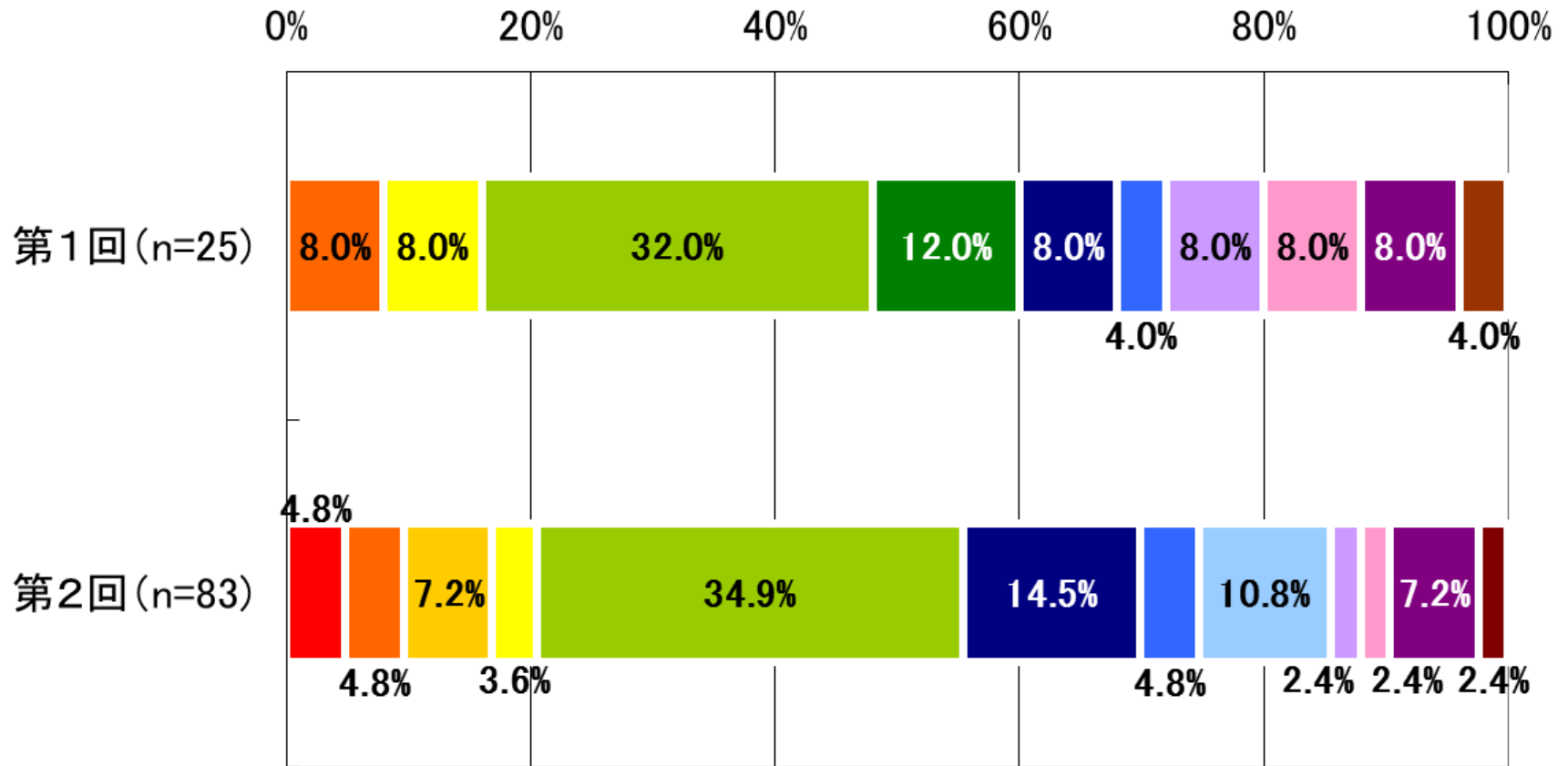
| 意見内容 | エリア | 案 | 懸念事項 | | | |
|--|-----|-------------|---------|------------|-----|-----|
| <p>先ほどから出ておりますけれども、コミュニティエリアの問題と同時にそれをこれからふるさと協議会の中でどういう運営していくか、三町会の連絡会プラスまちづくり協議会のほうで、ということで、それから<u>四町会のほうがどう絡んでくるかという運営の話</u>もしていかないといけない。次回はそのあたりも含めて、というかたちになるかと思う。まとめると、とりあえずは<u>案1をベースとして考えていく</u>けれども、しかし<u>案2の方向も将来的には見据えていく</u>、先ほどのタイムスケジュールで進めていくかということも含めて、逆にいうと<u>今の四町会については各町会ごとでの意志を確認していただく</u>というのを次回までにお願ひできればと思う。</p> | 分割 | まずは1案、後に2案へ | エリアの分け方 | 数年後のエリア見直し | まち協 | ふる協 |
| <p>市にお願いしたいのだが、案1と案2に分けて、10年後、<u>2040年くらいまでの人口のピラミッド構成を知りたい</u>。もうひとつは、ある程度の世帯を有するコミュニティで<u>高齢者対策がうまくいっているところ</u>がある。そのサンプルがあれば教えていただきたい。確か8千世帯くらいで千葉でうまく活動しているコミュニティがあったはず。<u>高齢者のコミュニティを支えていくにはある程度の人口がいないと支えられない</u>。財政的な意味も含めて、マンパワーも。</p> | 分割 | 1案か2案 | 高齢社会 | | | |
| <p><u>推計人口については、より地域が細かくなればなるほど難しくなってくる</u>という現状がある。どこまでできるかについては、今日の資料でお示しているように田中地域の2025年までのこんな推移しますよというのはお示しできる。これはその先も実はできている。こういう統計というのは先にいけばいくほど数字が怪しくなることがあって、なおかつ地区を区切れれば区切るほど余計怪しくなるところがある。担当に持ち帰って話をするが、出来る範囲で皆様のご議論の参考になるような数値はお出しできるように努力させていただきたいと思う。</p> | その他 | その他 | その他 | | | |

ご意見から得られた懸念事項の割合 (n=83)



※「その他」は含めていません。

第1回目と第2回目の比較(懸念事項)



- 多世代連携
- 意見集約
- 地域特性
- 新旧住民の意識差
- エリアの分け方
- 町会・自治会の分け方
- 学区
- まち協
- ふる協
- 近隣センター
- 民生委員児童委員
- 市の方針
- メリット・デメリット
- 高齢社会

※「その他」は含めていません。

感想シート

感 想

柏の葉一丁目
自治会

- ・大変参考になりました。
- ・鋭意議論を深めて、できるだけ早い時期に分割実施をお願いしたい。

柏の葉キャンパス一番街町会

- ・活動しやすいのは①案だと思うが地理的に②案の方が良いと思う。まずは①案で分けて、10～20年後に②案に移行していくのが、無理がないのかな？

柏の葉キャンパス二番街町会

- ・案③も含めてエリア案が分かりやすく提示されておりよかった。
- ・大字別人口などディスカッションに際しての細かいデータが提示されたのはよかった。
- ・分科会を実施したかった。

柏の葉キャンパスゲートタワー
管理組合

- ・協議事項・境界についてでしたが、必要である資料・説明ともにわかりやすかった。
- ・学区は大事だが、今回のエリア検討に直接関係ないのではないかと思うので、別の会議で検討していくことが必要だと思った。少々論点がずれてしまったけれど、今後の課題であると思う。
- ・議長の提案(エリアごとのグループワーク)は、悪くないと思ったのですが、地域でも考え方が異なっている可能性はあると思うので・・・。
- ・エリアは、現在を見るのか10年後を見るのかでは視点が違う(高齢者問題、教育問題など)ので、どう考えるのかによると思うが、住んでいる人々が地域で安心して暮らせる街づくりをしていける環境をつくってほしい。

委員から次回会議への要望

要望

市にお願いしたいのだが、案1と案2に分けて、10年後、2040年くらいまでの人口のピラミッド構成を知りたい。

もうひとつは、ある程度の世帯を有するコミュニティで高齢者対策がうまくいっているところがある。そのサンプルがあれば教えていただきたい。確か8千世帯くらいで千葉でうまく活動しているコミュニティがあったはず。高齢者のコミュニティを支えていくにはある程度の人口がいないと支えられない。財政的な意味も含めて、マンパワーも。

委員長まとめ

まとめ

先ほどから出ておりますけれども、コミュニティエリアの問題と同時にそれをこれからふるさと協議会の中でどういう運営していくか、三町会の連絡会プラスまちづくり協議会のほうで、ということで、それから四町会のほうがどう絡んでくるかという運営の話もしていかないといけない。次回はそのあたりも含めて、というかたちになるかと思う。まとめると、とりあえずは案1をベースとして考えていくけれども、しかし案2の方向も将来的には見据えていく、先ほどのタイムスケジュールを進めていくかということも含めて、逆にいうと今の四町会については各町会ごとの意志を確認していただくというのを次回までにお願ひできればと思う。

市の次回会議へむけて

次回までの事務局側の宿題として、

もし案1からスタートした場合にどんなふうな見直しのタームであるとか、今回の結論は、おそらく案2が望ましいであろう、とただそれを今、分けるかどうかというところの議論かなと思っている。なので、もし案1からスタートした場合にどういう流れで案2に移行していくのか、という時間的なものですとか、おそらく、もし近隣センターを作るとしても、その近隣センターが抱える人口規模がどうなるかというのを見ないといけないので、その辺の行政の計画の推考する期間があるので、案1からスタートするのであればどんなふうに案2に移行するのか計画を作りたいと思っている。もしくは案2でスタートした場合に既存のふるさと協議会との活動のすり合わせですとか、おそらく、もしくはふる協を立ち上げるときの課題ですとか、というところもあるかと思うので、そのあたり事務局で整理してご提示できればと思う。